

## 9月に思うこと

暑さもようやく和らぎ、秋らしくなってきました。日も短くなり、家へ帰るときも少しずつ暗くなっていくのを感じます。真夏の暑さと明るさを思うと一抹の寂しさを感じます。

先日、議員時代から公私ともにお付き合いをさせていただいた方の訃報に接しました。私のことを大変気に掛けていただいた方だったのでとても残念な思いでした。

私が町長に就任してしばらくして、ひよっこり町長室を訪問してくれました。病気のためか、とてもやつれた様子でしたが、「やつところられたわ。直接会ってお祝いを言いたかったんだ。よかった、よかった。がんばってね」と笑顔で嬉しそうに話してくれました。

数年前、大きな手術の直前に、彼の自宅をお見舞いに訪問した時は、元気そうに「8時間の手術やけど元気になって帰ってくるよ」と力強く話してくれました。その時と比べると様相は別人のようでしたが、帰りに「また来てもいいか」と言うので「また来てください」と。それが最後の会話となりました。

逝去の連絡をもらい、仕事の合間を見て弔問に伺い、その後のお通夜にも伺いました。仕事から葬儀に参列することが多くありますが、自身がお世話になった方の死は残念、無念、悲しみがひとしおです。

ちまたでは、国葬について喧喧諤諤けんけんがくですが、亡くなられた方のご冥福を静かに祈りたいと思います、合掌。そして、イギリスにもその思いが届きますように。

Rest in peace

—ご冥福をお祈りします—



筆 おもむくまに

穴水町長 吉村 光輝